

Report

Hokkaido Soil Research Cooperative Association

SRC



2022. 5
No. 394

ISSN 1342-1409

北海道土質試験協同組合広報誌



表紙写真 桜（弘前城）
[写真説明]
青森県弘前城、満開の桜

目

次

1. 巻頭言	1
株式会社 構研エンジニアリング 代表取締役社長 池田憲二 『日本の常識、…』	
2. 技術部からのお知らせ	4
3. 令和3年度第8回理事会議事録	5
4. 組合員名簿	6
5. 部門別試験実績	8
2・3月分	



『日本の常識、…』

株式会社 構研エンジニアリング
代表取締役社長 池田 憲二

去年(令和3年)の夏は暑かった！

ありがたいことに日本ではすっかりクールビズが定着し、得意先への外回りでもノーネクタイは当たり前になった。当然、通勤も上着なし。上着とネクタイは普段は職場のロッカーに入れてある。「肥満体 何もせずに汗をかき」という川柳を地で行く私にとってはうれしい限りだ。そんな中、弊社最大顧客のトップが交代した。当然のことながら、ご挨拶に何うことにした。通常の挨拶回りと違い、特にこのような場合は相手に失礼があってはならない。クールビズ期間であっても上着、ネクタイ着用である。日本ではごく当たり前のビジネスの常識だろう。

ところが欧米では時と場合によっては、特に社交の場合、あえて服装を0.5段階くらい、ほんの少し下げることがある。自宅設宴の時、ホストは招待状にドレスコードを指定する。ゲストに配慮し、平日なら着替えてこなくて済むよう平服(Informal)とすることが多い。平服とはフォーマルではない、すなわちタキシードとか燕尾服ではないということで、通常のビジネススーツにネクタイ着用である。休日に自宅にいるような時の格好ではない。これを知らないでノーネクタイ、ノージャケットで行くと大恥を掻く。

ところがホストはゲストに平服と指定しておきながら、自分は少しラフな格好で客を迎える。スーツでも明るい色にしたり、上下揃いのスーツではなく、上着はブレザーのようなものにしたりする。もしカジュアルと指定したのならば、ホストはいつそのことノーネクタイで客を迎える。カジュアルとは上下揃いのスーツではないが、ネクタイ着用が普通である。日本流に考えると、ホストが自分の服装の格式を少し下げるのはゲストに失礼なような気がするが、そうではない。ホストの方がより正装に近い格好をすると、ゲストに恥を掻かせてしまう。そうしない配慮である。

一方、ゲストの方は必ず指定の時間より遅れてくるのが礼儀になっている。もちろん遅れ過ぎてもいけないが、時間前にだけは絶対に来てはいけない。もし、時間前に到着し、その時、ゲストを迎え入れる準備ができていなかったら、それはホスト・ホステスに恥を掻かせることになるのだ。

大使公邸で公式なレセプションが催されるとき、決まって時間前に来るのは日本人であった。30分以上も早く来る輩もいた。そんな客でも必ず中に招き入れ、館員の誰かが準備の手を止め、お相手して談笑する。時間前に来るのは非常識だとは決して言わない。相手に恥を掻かせない。この先、恥を掻き続けることのないよう、そっと教えてあげるほうがよほど親切だと思うのだが。

ところで宴の終わりの時刻は決めない。招いた側による締め挨拶なんてもってのほか。客に帰れという失礼な行為である。マナーの良い客は適切な時間に十分楽しみ

ましたとホスト・ホステスに挨拶し、自主的に帰るのである。その時、一斉に客が引けるのを避けるため、ゲストらは少しずつばらけて帰るよう配慮する。ホスト・ホステスは帰るといふ客を「まだいいじゃないですか」と心にもないセリフで引き留めることすらある。ゲストは、どうしてもと強く引き留められた場合は、ほんの少しだけ留まるが、決して長居してはいけない。なんとも面倒くさい社交界のマナーである。

実態は時間前に来た日本人に限って、いつまでも帰らない。税制のせいでアルコールの値段が高い私の任国、北欧のフィンランドにおいて、大使館主催のレセプションはただ酒をたらふく飲める絶好の機会である。深夜になっても帰らない日本人に対し、ホスト側の館員は歯を食いしばり、心の中では早く帰れと念じつつ、いつまでも笑顔で対応する。ある時、正義感が強くて気が短い次席(公使)の堪忍袋の緒が切れて「もうだいぶ遅くなりましたので…」と切り出した。しかし、客が帰った後、その公使は大使から説教を喰らった。大使や部下をおもんばかっての行動であったのに、気の毒なことだった。

マナーといえばテーブルマナーがある。

最初に座るところから気を遣う。隣が女性なら必ず椅子を引く。両隣女性なら右の人を優先。左の女性はさらに左の男性が右側の女性として椅子を引いてくれるはず。そうでなければ両方の女性の椅子を引き、いずれにしても男性は最後に着席する。

フォークは左手、ナイフは右手、たくさん並んでいたら外側から位は知っていたが、他に知らなかったこともいっぱいあった。まず食べ始め。全員に料理が行き渡ったのを確認してから、最初にホストから食べ始める。それを見て、ゲストは食べ始める。自分の料理が目の前に来たからといって、自分だけ先に食べ始めてはいけない。食べ終わっても全員が何となくほぼ同時に終わるよう食べる。ホストのペースに合わせれば、間違いない。一人早食いは禁止である。

つらかったのは途中でトイレに行ってはいけないことだ。前菜やスープから始まり、魚や肉になる。一皿一皿ゆっくり食事は進む。その前にウエルカムドリンクで、ロビーでビールかカクテルまたはシェリーなどを既にいただいている。食事中はもちろんワインだ。話題づくりのため日本酒が出てきたり、冷凍庫からコスケンコルヴァ(フィンランド産のウォッカ(38度))が振る舞われることがある。酒に弱く(酒の誘惑に弱く)、当時30代前半の私は最初っからハイピッチである。既にこれら利尿剤の作用はピークに達している。コーヒーとデザートが出る前にトイレに行けないのはつらかった。時々、これも日本人に多いが食事の途中で席を立つ客がいる。これはしめたものだ。さっそく私も「ご案内します」と立ち上がり、トイレに誘導する。大使公邸には客用のトイレの他に職員用もあり、私はそこに駆け込む。問題は客より早く済ませて、出てこなければならなかったことだ。

ゲストとしてディナーやランチに呼ばれたこともたくさんあった。テーブルに日本人は自分一人、周りは全部フィンランド人のこともあった。そのようなとき、フィンランド人たちは決してフィンランド語を話さなかった。私にはもちろん英語、自分たちで会話するときも英語であった。フィンランド語を理解しないたった一人の外国人を孤立させないようにとの配慮であろう。この感動は立場を変えて帰国後にもう一度味わうことになる。

国土交通省北海道開発局からは何代にもわたって、外務省在フィンランド日本国大使館に1等書記官を派遣している。全員が経済班長であり、使った秘書も同じフィンランド人現地スタッフである。その彼が勤続20年となり、外務省が日本に招待した。

歴代のボスがいる北海道にも当然来ることになった。我々、歴代ボスたちは自分たちの家族(夫人、子供)も含めて、元部下のために盛大な歓迎会を催した。そこではたった一人のフィンランド人のために、日本人全員が日本人同士でも英語で会話したのである。皆、私と同じ経験を現地ですて、同じ思いで帰国したのであろう。

日本での宴であったので、トイレには自由に行ったりしていた。1度だけ、彼がトイレに立った。その時だけテーブルの会話は日本語になり、そしてまた、彼が戻って着席した時には英語に戻った。私は大いに感動した。

その一方で残念な経験もある。日米橋梁ワークショップという政府間協議の場で、2日間のとてもハードな会議の後、現地見学会が行われた。サンフランシスコの歴史的な橋梁やその維持管理、点検の現場を見て回ったのち、Caltrans(カリフォルニア州交通局)主催の歓迎会が開かれた。私のテーブル(円卓)にはCaltransのアメリカ人職員一人と5人の日本人が席に着いた。私はがんばって彼と会話し、同席の日本人にも英語で話しかけた。しかし、私の孤軍奮闘むなしく、酒が回るにつれ、みへんな日本語になってしまった。でも、私は彼らを非難できない。私も海外勤務経験がなかったら、いの一番に大声で、日本語で会話したであろうし、彼らも海外で孤立し、このような配慮を受けたら同じ配慮ができるようになったことだろう。

日本で生まれ、新婚旅行で初めて海外を経験した私が、3年間の海外勤務とその後何度も海外出張の機会に恵まれることになるとは、夢にも思っていませんでした。おかげで少しはレディファーストや社交のマナーなど、日本の常識とは違った配慮が身に着いているかもしれない。残念なのは滅多にそれらを発揮する機会に遭わないことだ。

余白ができたので、フィンランドに関するクイズを2題。

Q1. フィンランド人の姓にはよくネンがつくけど、長野オリンピックノーマルヒルで優勝したフィンランド人ジャンパーは次の3人のうち、誰でしょう。

1) マッティ・ニッカネン 2) ヤニ・ソイニネン 3) イッタイ・ドッチヤネン

Q2. 夏至の日、ヘルシンキ(フィンランドの首都、北緯60度)で太陽は東西南北どちらの方角から出て、どちらの方角に沈むでしょう。東→西ではありません。

A1. 正解は2)。1) はサラエボやカルガリー大会の優勝者、3) はジョークです。

A2. 北から出て、東、南、西を通過して北に沈みます。さらに北、北極圏(北緯66度33分以北)では太陽は沈まずにぐるぐる東南西北を回る白夜になります。なお、冬至は南から出て、すぐに南に沈みます。北極圏では出てきません。白夜の反対、極夜です。

【技術部からのお知らせ】

(1) 2022年度試験担当窓口

本年度の業務受付窓口をお知らせいたします。受付時は主担当者と打ち合わせていただきたいと思います。多部門に試験がまたがる場合は、主担当者から他部門の担当者に申し送りさせていただきます。主担当の部門以外で試験内容に不明点がある場合はその試験部門の担当者から再度連絡させていただきます。

試験部門名・試験名	主担当職員
1. 物理試験	場谷
2. 力学・岩石試験全般	宇山
・一軸圧縮試験、圧密試験、配合試験	宇山
・三軸圧縮試験、繰返し三軸試験、その他の力学試験	高橋
・岩石試験	前田
3. 材料試験・骨材試験	越前
4. 凍上試験	小林
5. コンクリート試験・砂防ソイルセメント試験	金谷
6. 原位置試験	伊藤
7. 化学試験・X線分析試験	八島
8. 電子納品業務、地盤情報検定業務	山内(-)
9. 地盤情報検定業務、機器貸出	伊藤

(2) 新規格仕様データシートへの切り替えについて

「地盤材料試験の方法と解説」の改訂に伴い修正を進めてまいりましたソフトウェアですが、概ね修正が完了いたしました。計測データなどは様々な計測結果があり、全ての事象を検証できている訳ではありませんが、試験機関として変更内容についても皆様に周知していかなければならないと考え、本年度業務より報告データシートを2020年度版へ変更いたします。大きな変更内容は密度、体積変化量、長さ等に関する単位表記が変更になり、報告値の有効桁数についても明記されています。これは、技術者や試験者の判断により、さらに精度を高めた報告を妨げるものではありません。当組合では、新規格に明記されている有効桁数から報告精度を落とす桁数表記にはならない範囲で、従来と同様の報告桁数表記といたします。ご不明な点は各試験担当者のほうへお問い合わせください。データシート変更直後は少し混乱してしまうことも考えられますが、皆様にはご了承のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度 第8回理事会 議事録

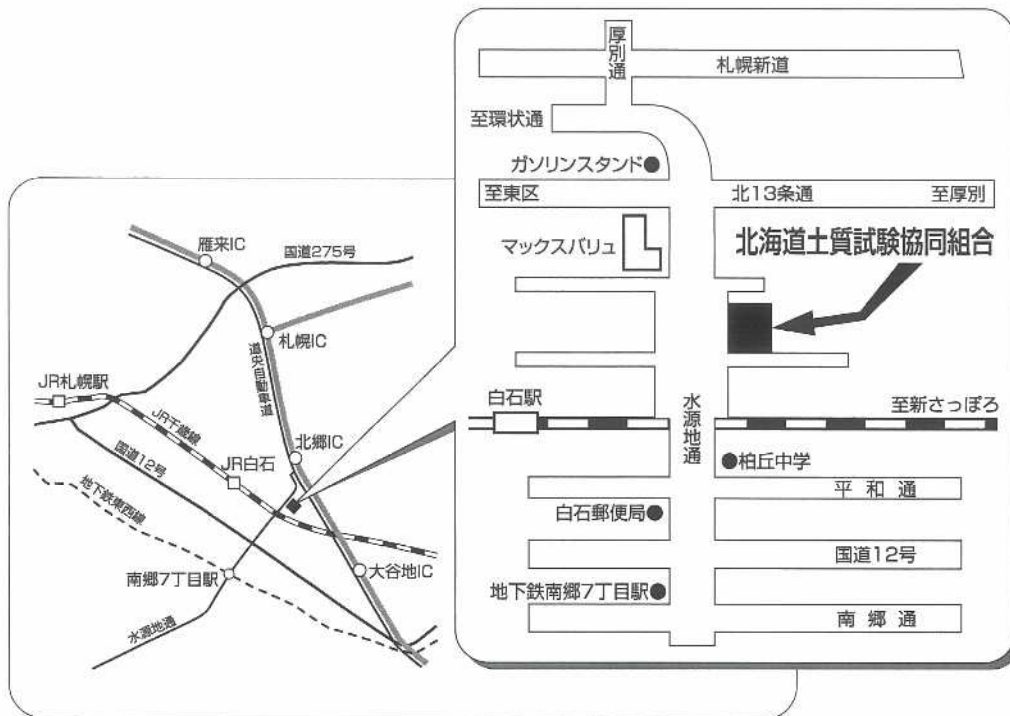
<p>1. 開催日時 2. 開催場所 3. 理事の総数 4. 議事の経過の概要</p>	<p>令和4年3月22日(火) 午後1時30分 組合会議室(オンライン併用) 6名</p> <p>議案(1) 事業報告</p> <p>事業報告では1月・2月の実績及び3月の売上予想が報告された。1月・2月ともに計画を上回る実績を上げることができ、3月も計画を上回る実績を上げることが見込まれるため、令和3年度の年間売上実績も計画売上を上回る見込みとなった。</p> <p>また、(有)共同土質の令和3年度の事業量もコンクリート骨材試験・X線分析などが増えたため、事業計画を上回る見込みとなったことを報告した。</p> <p>議案(2) 決算処理の件</p> <p>事業利用分量歩戻し金(案)について審議し、総会に諮ることを承認した。また、出資配当(案)についても総会に諮ることを承認した。</p> <p>議案(3) その他</p> <p>ア. 第57期通常総会の日程について審議し、令和4年5月31日(火)15:00より札幌ビューホテル大通公園での開催原案を承認した。</p> <p>イ. 北海道中小企業団体中央会の指導を得て当組合の定款条文及び条項の変更について総会に諮ることを承認した。</p> <p>ウ. 令和4年度における試験設備の新規投資及び更新について物理試験室の大型乾燥機、力学試験の三軸圧縮試験装置、圧密試験装置等の更新に関して検討中であることを報告した。また、キュービクル式高圧受電設備の更新についても検討を進めており、両案についてまとめ次第理事会で審議することとした。</p> <p>エ. 職員の定年退職者、配置転換、昇格を承認した。</p> <p>オ. 令和4年度行事について報告した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術懇談会 令和4年5月25日(水)札幌コンベンションセンター小ホールにて開催予定。 ・ジオラボネットワーク経営懇談会 令和4年6月3日(金)北海道中小企業会館にて開催予定 ・第5回SRC杯ゴルフコンペを9月10日(土)に開催予定 ・毎年6月上旬に開催している組合員親睦野球大会については、十分な新型コロナウイルスの感染対策をとることができないため、開催を中止。 <p>カ. 次回理事会は、令和4年5月10日(火)に開催する事を決定した。</p>
---	---

組 合 員 名 簿

組 合 員 名	電話番号	FAX番号
株式会社 北海工営社	561-1407	551-9211
株式会社 トキワ地研	751-4841	721-3603
大地コンサルタント株式会社	(0166)22-7341	(0166)22-9333
アースコンサルタント株式会社	(0166)32-3111	(0166)32-2800
上山試験錐工業株式会社	241-6516	241-0336
建基コンサルタント株式会社	736-6355	736-6357
株式会社ダイヤコンサルタント北海道支社	729-2701	729-2687
防災地質工業株式会社	763-2939	763-2932
明治コンサルタント株式会社	562-3066	562-3199
株式会社ユニオン・コンサルタント	746-8281	746-8284
(有)共同土質試験	873-9895	873-9890
株式会社建設コンサルタント	737-1111	737-2111
野外科学株式会社	751-5151	741-4797
日本工営株式会社札幌支店	205-5531(営業)	252-0345(営業)
サンコーコンサルタント株式会社札幌支店	271-2235	271-2177
基礎地盤コンサルタント株式会社北海道支社	822-4171	822-4727
拓北地下開発株式会社	(0154)51-4711	(0154)55-2200
株式会社道北開発試験センター	(0166)49-2626	(0166)49-2468
中央開発株式会社札幌支店	788-7097	788-7099
太平洋総合コンサルタント株式会社	(0154)41-2633	(0154)42-8539
株式会社シン技術コンサル	859-2600	859-2613
日特建設株式会社札幌支店	801-3611	801-3633
株式会社開発調査研究所	852-5053	855-1298
三和土質基礎株式会社	642-9391	644-8911
株式会社ズコーシヤ	(0155)33-4400	(0155)33-7100
株式会社北開水工コンサルタント	(0155)66-8710	(0155)66-8751
株式会社エーテイツク	644-2845	644-2895
和光技研株式会社	611-0206	612-2092
株式会社ダイシン設計	222-2325	232-0540
株式会社シビテツク	816-3001	816-2561
パブリックコンサルタント株式会社	222-2577	251-3176
北海道道路エンジニアリング株式会社	824-2511	824-2593
株式会社開発工営社	207-3666	218-5777
株式会社シー・イー・サービス	855-4440	854-3231
国土防災技術北海道株式会社	232-3521	232-3523
北海道土質コンサルタント株式会社	841-1466	841-5490
株式会社レアツクス	780-2222	780-2221
株式会社アクアジオテクノ	866-5522	866-5521
北海道土木設計株式会社	231-6321	231-5223
株式会社地圏総合コンサルタント札幌支店	615-1520	615-1527
株式会社エスエスコンサル	(0156)25-5767	(0156)25-5041
株式会社プラテツク	(0154)32-3081	(0154)24-7838
株式会社ケイジー技研	261-5001	261-5034
川崎地質株式会社北海道支店	232-1344	232-1343
株式会社構研エンジニアリング	780-2811	785-1501
株式会社シーウェイエンジニアリング	824-6001	824-6002

令和4年4月現在

代 表 者 名	住 所
代表取締役社長 本 多 俊 司	064-0809 札幌市中央区南9条西16丁目1番27-201
代表取締役社長 小 林 直 幹	065-0028 札幌市東区北28条東2丁目1番22号
代表取締役社長 千 葉 新 次	070-0054 旭川市4条西2丁目1番12号
代表取締役社長 小 倉 健 一	078-8234 旭川市豊岡4条7丁目7番13号
代表取締役社長 上 山 弘	060-0032 札幌市中央区北2条東13丁目1番7号
代表取締役社長 茂 木 章	001-0023 札幌市北区北23条西9丁目2番16号
執行役員北海道支社長 土 本 浩 二	001-0010 札幌市北区北10条西2丁目13番地2
代表取締役社長 雨 宮 和 夫	001-0907 札幌市北区新琴似7条15丁目6番22号
代表取締役社長 林 雅 一	064-0807 札幌市中央区南7条西1丁目21番地1
代表取締役社長 関 根 幸 博	001-0045 札幌市北区麻生町7丁目3番12号 U.C.BLD.
代表取締役社長 関 根 幸 博	003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号
代表取締役社長 笠 原 成 悟	001-0013 札幌市北区北13条西4丁目1番6号 建設コンサルビル
代表取締役会長 柳 保 二	065-0043 札幌市東区苗穂町12丁目2番39号
札幌支店長 橋 場 克 泰	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番地 札幌センタービル
札幌支店長 室 田 昭 光	060-0042 札幌市中央区大通西12丁目4-69 あいおいニッセイ同和損保札幌大通ビル3F
執行役員北海道支社長 知 本 康 男	003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7番1号 SEビル
代表取締役社長 田 中 卓	084-0913 釧路市星が浦南1丁目3番7号
代表取締役社長 佐羽内 良 一	079-8444 旭川市流通団地4条5丁目26番2
札幌支店長 阿 部 哲 男	060-0806 札幌市北区北6条西9丁目2 ホクスイビル2階
代表取締役社長 工 藤 覚	085-0815 釧路市材木町15番5号
代表取締役社長 重 清 祐 之	003-0021 札幌市白石区栄通2丁目8番30号
執行役員札幌支店長 阿 部 義 宏	004-0041 札幌市厚別区大谷地東4丁目2番20号 第2西村ビル1F
代表取締役社長 名 畑 成 徳	062-0054 札幌市豊平区月寒東4条10丁目7番1号
代表取締役社長 野 田 賢	063-0804 札幌市西区二十四軒4条5丁目11番10号
代表取締役社長 高 橋 宣 之	080-0048 帯広市西18条北1丁目17番地
代表取締役社長 森 田 康 志	080-0807 帯広市東7条南17丁目1番地1
代表取締役社長 舟 田 幸 太 郎	063-0801 札幌市西区二十四軒1条5丁目6番1号
代表取締役社長 細 川 康 司	063-8507 札幌市西区琴似3条7丁目5番22号
代表取締役社長 本 多 弘 幸	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地 道通ビル
代表取締役社長 渡 辺 亮	003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目8番1号
代表取締役社長 長 榮 作	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23 (第2道通ビル4F)
代表取締役社長 倉 西 秀 夫	003-0013 札幌市白石区中央3条2丁目1番40号
代表取締役社長 高 橋 公 浩	060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目1番地
代表取締役社長 清 水 文 彦	062-0032 札幌市豊平区西岡2条8丁目5番27号
代表取締役社長 小 野 由 紀 光	060-0033 札幌市中央区北3条東3丁目1-30 (KNビル)
代表取締役社長 中 川 岳	062-0931 札幌市豊平区平岸1条2丁目5番16号
代表取締役社長 成 田 昌 幸	065-0024 札幌市東区北24条東17丁目1-12
代表取締役社長 石 塚 学	003-0025 札幌市白石区本郷通9丁目北4-5
代表取締役社長 佐々木 朗	060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目1番地 マルイト札幌ビル
札幌支店長 諏 訪 喬 祐	064-0823 札幌市中央区北3条西26丁目1番20号
代表取締役社長 村 瀬 義 美	089-3716 足寄郡足寄町南6条4丁目62番地
代表取締役社長 阿 部 操	085-0008 釧路市入江町9番2号
代表取締役社長 郡 義 和	060-0063 札幌市中央区南3条西13丁目320番地
北海道支店長 加 藤 猛 士	060-0031 札幌市中央区北1条東2丁目5-2 札幌泉第2ビル
代表取締役社長 池 田 憲 二	065-8510 札幌市東区北18条東17丁目1番1号
代表取締役社長 佐 野 彰	003-0002 札幌市白石区東札幌2条5丁目1番25号



① 高速道路を利用した場合

旭川方面から 札幌IC出口より 約10分

小樽方面から 大谷地IC出口より 約10分

室蘭方面から 札幌南IC出口より 約15分・北郷IC出口より 約8分

② 国道を利用した場合

旭川方面から 国道12号から水源地通りを右折

小樽方面から 札幌新道(国道274号)から厚別通りを右折し水源地通りを左折

室蘭方面から 国道36号から水源地通りを右折

③ 公共交通機関を利用した場合

JRを利用した場合 JR白石駅下車、徒歩約15分

地下鉄を利用した場合 市営地下鉄東西線、南郷7丁目駅下車、徒歩25分

又は、北海道中央バス(白25番)に乗り継ぎ、北郷2条8丁目下車

● 発行所
北海道士質試験協同組合

〒003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号
TEL 011-873-9895 (代表)
FAX 011-873-9890 (総務部)
FAX 011-874-1910 (技術部)
ホームページアドレス <http://www.src.or.jp/>
地質調査業者登録
土壤汚染指定調査機関登録
ISO/IEC17025:2005認定登録

● 発行日
第394号 令和4年5月15日

● 編集責任者
折笠 章

● 印刷
株エーシーピー TEL 231-7575

